

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 三次町4158-1地区急傾斜地崩壊事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor-2		調査位置	広島県三次市三次町寺戸				北緯	34° 48' 56.5627"		
発注機関	広島県北部建設事務所				調査期間	令和04年12月26日～令和04年12月27日			東経	132° 51' 9.7919"	
調査業者名					主任技師			現場代理人			
コア鑑定者			ボーリング責任者			試験機	東邦地下工機D-1B				
孔口標高	T.P. 167.80 m	角			方位			使用機種	東邦地下工機D-1B		
総削孔長	3.00 m	度			位置			エンジン	ヤンマーNFD-13	ポンプ	東邦地下工機BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験										室内試験	削孔月日				
											N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数			50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試験番号	採取方法						
	167.40	0.40		礫混じり砂質土		茶褐			砂は中～粗粒砂を主体とする。φ=10～40mmの角礫を混入する。	12/27	0	10	20	30	40	50										
1	166.50	1.30		安山岩・軟岩		暗青灰			安山岩の風化岩。コアは礫状～岩片状を示す。岩片は粗面状、ハンマ打撃にて濁音を発し崩れる。岩級区分DM (DM～CL)クラス。	≒							150.0	1.00	50		50	100				
2				安山岩・軟岩		暗青灰			安山岩の風化岩。コアは岩片～短柱状を示す。コア肌は粗面状を示し、ハンマの軽打にて分離する。岩片はハンマ打撃にて濁音を発し角礫状に砕ける。亀裂はヘアークラック～低角度が主体を示し、キレツ面は概ね茶褐色に変色する。岩級区分はCLクラス。								50.0	2.00	50	0	50	0				
3	164.80	3.00		安山岩・軟岩		茶褐											50.0	3.00	50	0	50	0				12/26